

プレカット 新時代

◆◆◆15◆◆◆

熊谷木材工業

埼玉

9月下旬、熊谷木材工業の第2プレカット工場が竣工した。数年前から温めてきた計画だ。神事に赴く飯塚秀司社長は、宿願を果たした晴れやかな笑顔のなかも、さらなる激化が予想される関東地方の木造軸組プレカット産業界で、並み居る競合各社と伍していくことへの緊張感がうかがえた。生き残りに向け設備投資は不可欠だ。需要家であるビルター、工務店に対し何を提案できるか、かつてのような工場を持ちさえすれば仕事が入ってくる時代は当の昔に過ぎ去った。プレカット産業界もそれぞれが特徴を出していかなければ埋没してしまふ時代だ。

飯塚社長は「量産プレもりを出している。生差がある。ただ、地場レカットに対抗する考慮規模、営業力など格商圏ではクマモクにと

えはない。当社が商圏とする熊谷周辺の埼玉

県北でも大手プレカット

トの営業が浸透し、時

として驚くような見積

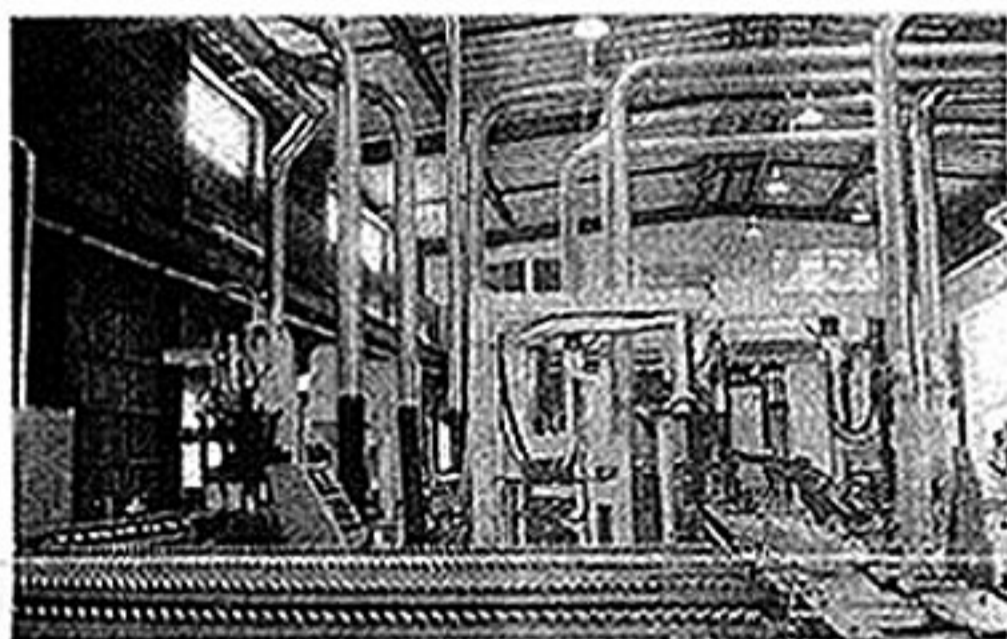


飯塚社長

「いって当社を大事にしてくれる取引先がある。そういった顧客に、より良いサービスを提供していく必要があ

独自の細かさ、きめ細かい

竣工した新工場、合板、羽柄、構造



クマモク新工場

場の最初の加工機も必要だった。同様の生産規模のため、何よりも限られたスペースにすべての機械を設置できることが重要だった。構造材の単位当たり加工能力が高いことは重要でなく、遅くとも精度が高く効率的な生産ができることを重視した。

竣工した第2工場は同社敷地に隣接する会社の用地を兼ねて買取、ここに新鋭設備一式を

設置した。機械設備はつ切りとならず、全体を把握しながら生産する。

平安コーポレーションを把握しながら生産する。

工場の特徴は、難しのもので、選んだ理由

は横架構造材と柱を同時に加工や特殊物件でも

は横架構造材と柱を同時に加工できるタイプだ

「当社の工場でも1000坪程度

大工3人が常駐しておいたこと、

「当社の工場でも1000坪程度

り、手加工も並行して合、構造材加工機だけに

行ろ。「竣工した新工

でなく、羽柄材、合板

みに既設の第1工場も

3・7275。

3・7275。

3・7275。

熊谷木材工業は昭和28年の創立、当時は米材丸太挽き製材会社で、主にピーラーなどを製材していた。59年には全国でもいち早く木造軸組プレカット事業に参入、宮川工機への対応も平成8年から早かった。

飯塚社長は「地域密着によるきめ細かなサービスを提供をモット

ーに取り組んできた。

今後ともこの方針に沿

って取引先の要望に応

えていきたい」と語

る。

▽熊谷木材工業クマ

モクプレカットII埼玉

県熊谷市三ヶ尻426

8・電話048・53

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。

3・7275。